

徳島県として“地域産業クラスター”の形成を推進し、国策としての“蓄電池・電源産業戦略”に貢献

1.産業領域

蓄電池関連産業

蓄電池・材料、製造設備の製造企業

- 蓄電池部品製造、蓄電池製造に必要なソフトウェア開発、リサイクル（再資源化）企業 等も含む。

Point! 徳島を含む関西圏は、国内の蓄電池製造品出荷額の約半数を占める。
徳島の順位 2022年4位→2023年3位→2024年 **1** 位

2.核となる区域

東部・南部エリア

- 蓄電池製造・材料メーカーやサプライチェーン企業、その他製造業、高等教育機関が立地する地域

西部エリア

- 材料メーカーやサプライチェーン企業、その他製造業が立地する地域
- 工業団地や工場適地等の周辺地域

県内蓄電池産業の状況

・徳島は関西・中四国の中心であり、県内に広く蓄電池産業が分布
・近隣エリアとの繋がりが優位性を活かし、産業クラスターを形成

3.目指すべき目標

KGI（最終目標）	2022年	2030年
製造品出荷額	1,603億円	3,000 億円
官民設備投資額	-	(累計) 2,000 億円
付加価値額	729億円	1,350 億円
従業員数	4,232人	5,000 人
人材育成数	-	(累計) 10,000 人

4.勝ち筋と政策手段

徳島バッテリーバレイ構想

①研究・製品開発支援

- 関連製品を含む研究開発
- 周辺環境の整備

②人材育成・確保

- 関西地域との連携
- 産業界と教育機関の連携

③新事業展開・誘致促進

- サプライチェーン企業の誘致
- 県内企業調査、マッチング

④インフラ整備

- 道路・港湾・空港の整備
- 工場用地等の提供体制の整備

⑤各種支援制度

- 国支援策の有効活用
- 補助金、低利融資の拡充

⑥規制緩和

- 障壁となる分野への対応
- リサイクルシステム等の検討

徳島の勝ち筋

地域の枠組みを超えた産学官連携の下、**多角的な競争力**を有する**製造基盤**を確立し、我が国の蓄電池産業の**グローバル市場の獲得**に貢献



広域サプライチェーンのハブ

徳島は関西圏と中四国を繋ぐ「**結節点**」。エリア全体の部品供給からセル製造までの工程を面で繋ぎ、海外勢に対抗しうる**製造供給ネットワーク**を構築。



多様な蓄電池の製造基盤構築

HEVやAI・データセンター用等、日本の技術優位性を活かした**多角的な競争力**を持つ蓄電池の製造基盤を構築し、日本のGXと新技術立国を支える「**戦略拠点**」へ。

国家課題を解決する「戦略拠点」へ



地方発の社会実装モデル

防災(BCP)や過疎地のモビリティ確保等、地域課題を**蓄電池エコシステム**で解決。蓄電池による生活拠点の強化をモデル化し全国へ発信。



静脈産業(リサイクル)の確立

蓄電池の回収から**レアメタルの再資源化**までを強力に推進。海外依存を脱却し、我が国の資源自律経済と経済安全保障に直接的に貢献する。

国の戦略推進の課題

期待される効果



経済安全保障の確立
(供給網強靱化)



電力制約の打破
(高度な電力需給と再エネの主力電源化)



GXの実現
(排出削減及び産業競争力強化)